

## 社会福学科 介護福祉専攻 2年 前期 総合科目

1. 生と死の倫理学
2. 職業選択と自己実現
3. 臨床美術の実践 I

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: 生と死の倫理学			担当教員 氏名: 宮島 光志			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
この授業では、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討しながら、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心がまえを学習します。とりわけ、他者の「人生という物語」を共感しながら理解する態度・姿勢を身に付けてもらい、福祉・介護関連の仕事に携わる意欲(使命感)を高めてもらいます。						・道徳と倫理 ・地域共生社会 ・幸福度 ・尊厳と自立 ・インフォームドコンセント ・生命倫理と医療倫理 ・ケア ・物語論
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6. 7. 10	
A 知識・理解力	人間の尊厳、人生の意味と幸福、社会の成り立ちについて広く知り、理解を深める。					
C 論理的思考力	何が善であり、倫理的に正しいことであるかを、論理的に(根拠に基づいて)考察する。					
D 問題解決力	医療・福祉・介護の現場における倫理的な葛藤を分析し、問題解決の方策を検討する。					
F チームワーク・リーダーシップ	事例検討を通じて多職種連携の重要性を理解し、連携に必要な協調性を涵養する。					
G 倫理観	医療倫理の考え方を理解し、利用者と家族の人権を守るための倫理的配慮ができる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 75 %	レポート: 0 %	発表: 25 %	実技試験: 0 %	その他: 0 %		
特記事項: 本科目はアクティブラーニングの一環として、ビデオ教材(ドラマ)や新聞記事を用いた事例検討(問題発見と課題解決)を実施します。						
アクティブラーニング要素: ●課題解決型学習 ●ディスカッション、ディベート ●グループワーク ●プレゼンテーション ●実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 小テスト(復習と予習に関する確認)を講義3回に1回を目安として(合計5回)実施するほか、ケーススタディ(合計9回)のさいには毎回、数人の受講者にコメントを求めます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 小テストを5回、講義の冒頭で行い(回収後に解答・解説も行い)、採点して次回に返却します。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①[導入1]倫理の探求と幸福の追求:ドラマによるケーススタディ[1]			【予習】講義概要を熟読しておく。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分		
②[導入2]人間の尊厳と人権の尊重:ドラマによるケーススタディ[2]			【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
③[導入3]人間の脆弱性と統合性:ドラマによるケーススタディ[3]			【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
④コメディカル生命倫理;第1回小テスト(①~③の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、小テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑤いのちの誕生における倫理的課題(その1);ドラマによるケーススタディ[4]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑥いのちの誕生における倫理的課題(その2);ドラマによるケーススタディ[5]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑦いのちの誕生における倫理的課題(その3);ドラマによるケーススタディ[6]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑧インフォームドコンセント;第2回小テスト(④~⑦の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、小テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑨臓器移植に関する倫理;ドラマによるケーススタディ[7]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑩高齢者医療における倫理的課題(その1);第3回小テスト(⑧と⑨の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、小テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑪高齢者医療における倫理的課題(その2);ドラマによるケーススタディ[8]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑫死に関連する倫理的課題;第4回小テスト(⑩と⑪の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、小テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑬尊厳死と安楽死;ドラマによるケーススタディ[9]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑭児童虐待と生命倫理;第5回小テスト(⑫と⑬の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、小テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑮発達障がい・LGBTと生命倫理;[まとめ](生と死の倫理学)と福祉・介護			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
使用テキスト: 金子・金内ほか(編集)『学生と考える生命倫理[第2版]』(ナカニシヤ出版、2018、ISBN-10:4779512212)			その他参考文献など: 介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新 介護福祉士養成講座 1)』(中央法規出版、2019)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この授業を履修しようとする学生は必ず初回の講義に出席してください(原則として、第2回講義からの履修は認められません)。また、毎回の講義には事前学修(予習)をした上で出席し、講義時間内の「事例検討」にも積極的に参加してください。						

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: 職業選択と自己実現			担当教員 氏名: 車 吉章			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 通常業務(放送アナウンス)を通じ、人のかかわり方、コミュニケーション方法、技術について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
自己の気づきをしながら、自らの能力と社会での活かし方を学ぶ。					自己探求	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
E 自己管理能力			コミュニケーション実践を通じて自己発見、自己理解。			
F チームワーク・リーダーシップ			グループワーク実践を通じて「積極性」を身につける。			
H コミュニケーション力			各実践を通じて社会人としての自覚を意識する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 20 %		レポート: 10 %		発表: 30 %		実技試験: 40 %
						その他: %
特記事項: コミュニケーション実践などを取り入れた授業の中で自らを見つめ発見していく。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 各テーマごとに試験などを実施していく。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①講師自己紹介、コミュニケーション実践の体験				グループワーク		90分
②受講にあたっての注意事項、マナー実践				あいさつ実践		90分
③履歴書の作成実践				履歴書の作成		90分
④履歴書の作成実践(ポイントテクニック)				履歴書の作成		90分
⑤履歴書の作成実践				履歴書の作成		90分
⑥自己探求				サクセスストーリー作成		90分
⑦自己探求(時間)				実生活の自覚		90分
⑧コミュニケーション実践				仲間とのコミュニケーション		90分
⑨コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑩コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑪コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑫コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑬コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑭コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑮模擬面接試験				テスト		90分
使用テキスト: 講師側で準備				その他参考文献など:		
時間を守る、挨拶、面接試験でのテクニックなどを実践通じて学んでもらいます。一部外部のプロフェッショナルを招いたり体感重視です。						

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 臨床美術の実践 I			担当教員 氏名: 北澤 晃、岡野 宏宣		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 前期	専門科目	演習	選択	臨床美術士4級
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: 臨床美術士養成講座講師の資格を持ち、臨床美術士として福祉施設での臨床美術の実践経験を生かし、造形素材の理 解やアートプログラムの実践力の向上、福祉施設でのアート活動の実施に向けて授業を行っている。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
臨床美術士として、アートプログラム制作を通して造形的な技術・技法を習得すると共に、 それを用いて主体的にロールプレイングや現場実習などアクティブ・ラーニングすること によって福祉施設などでアート活動を行うための実践力を身に付ける。					・臨床美術 ・右脳の活性化 ・認知症 ・コミュニケーション
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 5. 6. 7. 8	
A 知識・理解力	右脳の活性化と認知症について理解することができる。				
B 専門的技術	状況や関係を把握して様々な素材の使用法や表現技法を習得する。				
D 問題解決力	「ひと・こと・もの」に働きかけ、豊かに表現活動の場を設定するために、情報を収集・分析・ 整理し、目的に応じた活動案が作成できる。				
F チームワーク・リーダーシップ	リーダー・サブリーダーなどの役割を理解しチームに参画することができる。				
H コミュニケーション力	造形を通して具体的に他者を理解しコミュニケーションをすることを通して、他者に共感で き、相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 0 %	レポート: 30 %	発表: 30 %	実技試験: 30 %	その他: 10 %	
特記事項: 特記事項: ・事前課題作品は100%の提出とする。欠席した場合、授業内で制作した作品及び講義内容に関する課題を課す。 ・成績評価のレポートは事前課題の提出。発表は授業内での発言。実技試験はロールプレイングの理解と実践力。その他は積極性を指す。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、 <u>フィールドワーク</u>					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 発表・実技は毎時間毎に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題提出時に振り返りのコメントを伝える。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①【岡野】授業ガイダンス			4月12日		
②【北澤】臨床美術基幹Ⅱ「臨床美術研究成果」			4月19日	【復習】授業内容のテキストを熟読	30分
③【北澤】臨床美術アートプログラム制作「思い出の空」			4月19日	【復習】制作の感想・水彩の使い心地を 記入	60分
④【岡野】臨床美術アートプログラム制作「土偶」			4月26日	準備物: 4~5cmの石1個	
⑤【岡野】臨床美術アートプログラム制作「石のアナログ画」			4月26日	準備物: こぶし大の石1個	
⑥【北澤】臨床美術アートプログラム制作「アジの干物を描く」①			5月10日	【復習】制作の感想・アクリル絵具 の使用について	60分
⑦【北澤】臨床美術アートプログラム制作「アジの干物を描く」②			5月10日	【復習】ミクストメディアを含む制作 の感想を記入	60分
⑧【岡野】臨床美術学演習 「つまづき、ルービンの壺、純粋輪郭画、修正輪郭画」			5月17日	【予習】フォルムズ、フリー実習(許画 書) 準備物: 鉛筆(2B、4B)3本 【復習】演習を振り返る	【予習】90分 【復習】60分
⑨【岡野】臨床美術学演習「白と黒の魔術、右脳的な見方、きみ子方式」			5月17日	【予習】クレアの模写	120分
⑩【北澤】臨床美術教材研究「共同制作」			5月24日		
⑪【岡野・北澤】アートプログラム実践演習「感情のアナログ画ロールプレ イング」①			5月31日		
⑫【岡野・北澤】アートプログラム実践演習「感情のアナログ画ロールプレ イング」②			5月31日		
⑬【北澤】臨床美術教材研究「アートプログラムにおける造形素材」			6月7日	【復習】造形素材の探索	120分
使用テキスト: 使用テキスト: 『臨床美術士養成講座4級』、芸術造形研究所 『臨床美術 認知症医療と芸術のコラボレーション』、芸術造形研究所			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「臨床美術」の単位を取得し、臨床美術士4級取得について担当教員と相談の上、受講することができ ます。 4月13日の授業ガイダンスで授業の内容と日程について説明します。受講者は欠席しないようにしてください。 本科目は2コマ続けて行う授業になります。また開講日も不規則なため、授業日をよく確認してください。 ※本科目は事前課題が多い科目です。課題の提出日を常に確認してください。提出日直前に事前学習では対応できませんので、毎回計画的に進め るようしてください。(事前・事後学習課題の欄には提出日のみを記載してあります。)					